

平成29年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	建築材料Ⅱ	担当教員	上原義己		
学年学科	5年 建築学科	後期	選択	1単位(学修)	
学習・教育目標	(D-2 材料・バイオ)100%		JABEE基準1(1):(d)		
授業の目標と期待される効果： 建築物に用いられる非構造用材料について、それぞれの特徴や性質を理解する。また、要求性能に合った材料を適切に選択し、使用できるよう理解を深める。 これより、安全で快適な建築空間を構築する上で必要となる、建築非構造材料に関する基礎的知識を習得する。		成績評価の方法： 定期試験2回：100点×2＝200点 計200点満点とし得点率で評価する。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 定期試験で以下の8項目について評価し、総合して6割以上の正解率に達していること。 ①金属系材料の性質 ②セラミック系材料の性質 ③高分子系材料・塗料・接着剤の性質 ④断熱・防火材料の性質 ⑤吸音・遮音材料の性質 ⑥屋根・防水材料の性質 ⑦外装材料の性質 ⑧内装材料の性質			
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書と板書を中心に行うので、各自学習ノートを充実させること。また、参考となる資料を適宜配布するので、教室外学習を充実させ復習に務めること。					
教科書および参考書： 教科書：建築材料を学ぶーその選択から施工までー(谷川恭雄他、理工図書、2009.4) 参考書：建築材料実験用教材(日本建築学会編、2010.2)					
授業の概要と予定：後期		教室外学修		ALのレベル	
第1回：建築非構造材料概論	建築非構造材料の概略を理解する				
第2回：金属系材料1	種類と性質、および腐食と防食について理解する				
第3回：金属系材料2					
第4回：セラミック系材料	種類と性質を理解する				
第5回：塗料および接着剤	種類と性質を理解する				
第6回：断熱材料	種類と性質を理解する				
第7回：防火材料	種類と性質を理解する		C		
第8回：中間試験					
第9回：吸音・遮音材料	種類と性質を理解する				
第10回：屋根・防水材料	種類と性質を理解する				
第11回：外装材料1	要求性能を理解する				
第12回：外装材料2	種類と性質を理解する				
第13回：内装材料1	要求性能を理解する				
第14回：内装材料3	種類と性質を理解する		C		
期末試験					
第15回：期末試験模範解答の解説および成績評価の説明、建築非構造材料総論					

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	金属系材料の種類と特徴に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	金属系材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	金属系材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
②	セラミック系材料の種類と特徴に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	セラミック系材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	セラミック系材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
③	高分子系材料・塗料・接着剤の種類と特徴に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	高分子系材料・塗料・接着剤の種類と特徴に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	高分子系材料・塗料・接着剤の種類と特徴に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
④	断熱・防火材料の種類と特徴に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	断熱・防火材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	断熱・防火材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
⑤	吸音・遮音材料の種類と特徴に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	吸音・遮音材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	吸音・遮音材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
⑥	屋根・防水材料の種類と特徴に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	屋根・防水材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	屋根・防水材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
⑦	外装材料の種類と特徴に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	外装材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	外装材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
⑧	内装材料の種類と特徴に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	内装材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	内装材料の種類と特徴に関する問題をほぼ正確に解くことができない。